

サロベツ湿原センター発・“旬”を伝える

サロベツ花だより

No.14

今のおすすめは モウセンゴケ です



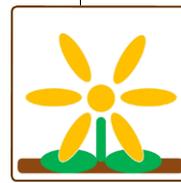
一周約 1km
所要時間30~40分

夏の小鳥たちの
さえずりをききながら
散策を楽しんでください

【発見難易度】 白色の花です

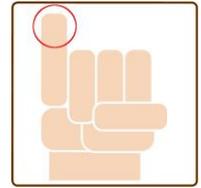
★★★★★ モウセンゴケ科

【花の高さ】



低 (5~10cm程度)

【花の大きさ】



小指の先くらい

【漢字: 毛氈苔】

食虫植物のモウセンゴケは、しゃもじ形の葉から透明のキラキラした粘る消化液を出し、虫を捕らえて溶かして養分としますが、お花はとても小さな可愛い白い花です。花は晴れた日の午前中に咲き、14時半頃に閉じます。

クサレダマ サクラソウ科 咲いています



「腐れてるだなんて可愛そうな名前」と思われがちですが、漢字は「草蓮玉」と書き、マメ科の低木「蓮玉」に似た「草」なので名付けられました。淡く黄色い花が円錐状にたくさん咲きます。

オトギリソウ オトギリソウ科 咲いています



「弟切草」という物騒な名前は、この植物が傷口に効くという秘密を弟が他人に話してしまい、怒った兄が弟を切り殺してしまったという話に由来しています。

ミカツキグサ カヤツリグサ科 咲いています



とても地味な花ですが、高層湿原に咲く貴重な花です。白色の小穂が三日月に見えることから名付けられました。木道わきでよく見ると群生して見られます。

【発行】 サロベツの大地とあなたをむすぶ
認定 NPO 法人サロベツ・エコ・ネットワーク

TEL 0162-82-3950 FAX 0162-82-0360

Eメール info@sarobetsu.or.jp

ホームページ『サロエコ』で検索

http://www.sarobetsu.or.jp/

Facebook も見てね!